
ありがとう

呉羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ありがとう

【ZPDF】

Z2317D

【作者名】

墨羽

【あらすじ】

願いがかなつた。うれしいです。

俺、リナ。まあ、女だよ。俺、今度、オヤジの事情で、引越しに、なった。

今度の、月曜日に、東京に、引っ越す。本当は、いやだ。だって、好きな人が、いるから。
でも、その人は、俺のこと、嫌い、見たいなの。でも、遊ぶ約束をした。

「ねえー何知つて、遊ぶの？」

卷之三

なんだよ、もう、しらない、海馬なんて。

16

なんだよ、リナって変なやつだな
でも、かわいいと、あるじやん。

あーあいつ、今度、引っ越すんだつたなあー。だから・・・・・・

次の日 ● ● ● ● ●

おはよう。皆が、笑つてた。

先生まで。海馬も、あー今日までかあー。お別れ会を知った。

かえりに、

海馬が、俺に、話を、して来た。

「ねえねえ

「何

「す・・・

「す・・・なあに?

「すきです

「・・・ええー、すきー

驚いたあまり、たおれた。

・・・・・・・・・・・

田をあけた。そしたら、
海馬が、いった。寝てた。
俺もすきだよ。

誰よりも、お前を一番、愛してる。

ああ、海馬海馬海馬海馬海馬海馬・・・!

(心の声)

海馬は、田をあけた。

俺は、あわてて田を閉じた。

リナまだ、寝てるのかよ。

海馬が、泣いた。

「もつ、会えなくなるのかよ、そんなの、俺様が許さない

海馬俺のせい

つこ、東京に行くときがきた。

海馬が俺に、花をわたした。

海馬は、俺の耳もとで「将来、俺様との、結婚相手だ」

と言つて・・・キスをした

ほかの学校で今がんばっています

終わり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2317d/>

ありがとう

2010年10月28日07時08分発行